

令和6年度 入学者教育課程表

A 表

(表 面)

教育局 石狩

北海道江別高等学校

全日制課程

学科 普通科

第1学年の
学 級 数

5

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年	2 年	3 年	計
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2	2			2
	論理国語	4		2	3	5
	文学国語	4		2	2	0～4
	国語表現	4				
	古典探究	4		2	2	0～4
地理歴史	地理総合	2	2			2
	地理探究	3				
	歴史総合	2	2			2
	日本史探究	3		3	3	0～3
	世界史探究	3		3		0～3
	○応用日本史	4			4	0～4
	○応用世界史	4			4	0～4
公民	公民	2		2		2
	倫理	2			3	0～3
	政治・経済	2			2	2
	○応用公民	3			3	0～3
数学	数学Ⅰ	3	3			3
	数学Ⅱ	4		4		4
	数学Ⅲ	3			3	0～3
	数学A	2	2			2
	数学B	2		2	2	0～2
	数学C	2			2	2
	○数学課題研究B	2			2	0～2
	○数学課題研究C	3			3	0～3
理科	科学と人間生活	2				
	物理基礎	2		2		0～2
	物理	4			4	0～4
	化学基礎	2	2			2
	化学	4			2	0～4
	生物基礎	2		2		0～2
	生物	4			4	0～4
	地学基礎	2			3	3
	地学	4				
	○理科総合A	3		3		0～3
	○理科総合B	3		3		0～3
	○理科研究	2			2	0～2
	○物理研究	2			2	0～2
	○化学研究	2			2	0～2
	○生物研究	2			2	0～2
保健体育	体育	7～8	3	3	2	8
	保健	2	1	1		2
芸術	音楽Ⅰ	2	2			0～2
	音楽Ⅱ	2		2		0～2
	音楽Ⅲ	2				
	美術Ⅰ	2	2	2		0～2
	美術Ⅱ	2		2		0～2
	美術Ⅲ	2				
	工芸Ⅰ	2				
	工芸Ⅱ	2				
	工芸Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2	2			0～2
	書道Ⅱ	2		2		0～2
	書道Ⅲ	2				
	○音楽探究	2			2	0～2
	○美術探究	2			2	0～2
	○書道探究	2			2	0～2

A 表

(裏面)

北海道江別高等学校

全日制課程

学科

普通科

教科	科目・標準単位数	学年	1 年	2 年	3 年	計
		類型				
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4			4
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4
	英語コミュニケーションⅢ	4			4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2			2
	論理・表現Ⅱ	2		2		2
	論理・表現Ⅲ	2				
	○実用英語	2			2	0～2
	○ブラッシュアップイングリッシュ	2			2	0～2
家庭	家庭基礎	2	2			2
	家庭総合	4				
情報	情報Ⅰ	2		2	2	2～4
	情報Ⅱ	2				
	○実践情報	2			2	2
理数	理数探究基礎	1				
	理数探究	2～5				
各学科に共通する各教科・科目の計						
主として専門学科において開設される各教科・科目の計						
学校設定教科に関する科目の計						
総合的な探究の時間 (名称)		3～6	1	1	1	3
合 計			30	30	30	90
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
教育課程に係るその他の事項						
卒業までに修得させる単位数			90 単位		卒業に必要な履修と修得の単位数	○ 1 分離している ○ 2 分離していない
学期の区分			○ 1 3学期制 ○ 2 2学期制		学期の区分ごとの単位修得の認定	○ 1 実施している ○ 2 実施していない
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()			
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している ○ 2 実施していない			
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 ○ 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。			
備 考			・「文学国語」及び「古典探究」は、2年次及び3年次で継続して履修する。 ・3年「化学」について、片方の選択で「化学」を選択した者は、もう片方の選択でも必ず「化学」を選択する。 ・3年「物理」及び「生物」は、それぞれ2年次において基礎を付した科目を履修した者のみ履修することができる。 ・3年「物理研究」及び「生物研究」は、それぞれ2年次において基礎を付した科目を履修した者のみ履修することができる。 ・2年「音楽Ⅱ」及び「美術Ⅱ」及び「書道Ⅱ」は、それぞれ1年次においてⅠを付した科目を履修した者のみ履修することができる。			

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

令和6年度 入学教育課程表

A 表

(表 面)

教育局	石狩
-----	----

北海道江別高等学校	全日制課程
-----------	-------

学科	事務情報科
----	-------

第1学年の 学 級 数	1
----------------	---

教科	学年		1 年	2 年	3 年	計
	科目・標準単位数	類型				
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2	2			2
	論理国語	4			3	3
	文学国語	4		3		3
	国語表現	4				
	古典探究	4				
地理歴史	地理総合	2			2	2
	地理探究	3				
	歴史総合	2			3	3
	日本史探究	3				
	世界史探究	3				
公民	公共	2		2		2
	倫理	2				
	政治・経済	2				
数学	数学Ⅰ	3	3			3
	数学Ⅱ	4				
	数学Ⅲ	3				
	数学A	2		2		2
	数学B	2				
	数学C	2				
理科	○数学課題研究A	2			2	2
	科学と人間生活	2	2			2
	物理基礎	2				
	物理	4				
	化学基礎	2			2	2
	化学	4				
	生物基礎	2			2	2
	生物	4				
	地学基礎	2				
保健体育	体育	7～8	3	3	2	8
	保健	2	1	1		2
芸術	音楽Ⅰ	2	2			0～2
	音楽Ⅱ	2		2		0～2
	音楽Ⅲ	2				
	美術Ⅰ	2	2			0～2
	美術Ⅱ	2		2		0～2
	美術Ⅲ	2				
	工芸Ⅰ	2				
	工芸Ⅱ	2				
	工芸Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2	2			0～2
外国語	書道Ⅱ	2		2		0～2
	書道Ⅲ	2				
	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3
家庭	英語コミュニケーションⅡ	4		3	2	5
	英語コミュニケーションⅢ	4				
	論理・表現Ⅰ	2				
	論理・表現Ⅱ	2				
情報	論理・表現Ⅲ	2				
	家庭基礎	2		2		2
理数	家庭総合	4				
	情報Ⅰ	2				
理数	情報Ⅱ	2				
	理数探究基礎	1				
理数	理数探究	2～5				

A 表

(裏面)

北海道江別高等学校

全日制課程

学科

事務情報科

教科	科目・標準単位数	学年	1 年	2 年	3 年	計
		類型				
商業	ビジネス基礎	2～4	2			2
	課題研究	2～4			3	3
	総合実践	2～4			4	4
	ビジネス・コミュニケーション	2～4		2		2
	マーケティング	2～4		2		2
	ビジネス法規	2～4		3	3	0～3
	簿記	2～4	5			5
	財務会計Ⅰ	2～4		3		0～3
	原価計算	2～4			4	0～4
	情報処理	2～4	4			4
	ソフトウェア活用	2～4		4		4
	プログラミング	2～4			4	0～4
	ネットワーク活用	2～4			4	0～4
各学科に共通する各教科・科目の計			18	18	18	54
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			11	11	11	33
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0	0
総合的な探究の時間 ()		3～6	1	1	1	3
合 計			30	30	30	90
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
教 育 課 程 に 係 る そ の 他 の 事 項						
卒業までに修得させる単位数			90 単位		卒業に必要な履修と修得の単位数	1 分離している ○ 2 分離していない
学期の区分			○ 1 3学期制 2 2学期制	学期の区分ごとの単位修得の認定		1 実施している ○ 2 実施していない
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()			
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している 2 実施していない			
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。			
備 考	・「情報処理」の履修をもって「情報Ⅰ」の履修に代える。 ・2年「音楽Ⅱ」及び「美術Ⅱ」及び「書道Ⅱ」は、それぞれ1年次においてⅠを付した科目を履修した者のみ履修することができる。					

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

令和6年度 入学教育課程表

A 表

(表 面)

教育局	石狩
-----	----

北海道江別高等学校	全日制課程
-----------	-------

学科	生活デザイン科
----	---------

第1学年の 学 級 数	1
----------------	---

教科	学年		1 年	2 年	3 年	計
	科目・標準単位数	類型				
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2	2			2
	論理国語	4			3	3
	文学国語	4		3		3
	国語表現	4				
	古典探究	4				
地理歴史	地理総合	2	2			2
	地理探究	3				
	歴史総合	2			3	3
	日本史探究	3				
	世界史探究	3				
公民	公共	2		2		2
	倫理	2				
	政治・経済	2				
数学	数学Ⅰ	3	3			3
	数学Ⅱ	4				
	数学Ⅲ	3				
	数学A	2		2		2
	数学B	2				
	数学C	2				
	○数学課題研究A	2			2	2
理科	科学と人間生活	2	2			2
	物理基礎	2				
	物理	4				
	化学基礎	2			2	2
	化学	4				
	生物基礎	2		2		2
	生物	4				
	地学基礎	2				
	地学	4				
保健体育	体育	7～8	3	3	2	8
	保健	2	1	1		2
芸術	音楽Ⅰ	2	2			0～2
	音楽Ⅱ	2		2		0～2
	音楽Ⅲ	2				
	美術Ⅰ	2	2			0～2
	美術Ⅱ	2		2		0～2
	美術Ⅲ	2				
	工芸Ⅰ	2				
	工芸Ⅱ	2				
	工芸Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2	2			0～2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3
	英語コミュニケーションⅡ	4		3	2	5
	英語コミュニケーションⅢ	4				
家庭	論理・表現Ⅰ	2				
	論理・表現Ⅱ	2				
	論理・表現Ⅲ	2				
情報	家庭基礎	2				
	家庭総合	4	4			4
理数	情報Ⅰ	2	2			2
	情報Ⅱ	2				
理数	理数探究基礎	1				
	理数探究	2～5				

A 表

(裏 面)

北海道江別高等学校

全日制課程

学科

生活デザイン科

教科	科目・標準単位数	学年	1 年	2 年	3 年	計
		類型				
家庭	生活産業基礎	2～4	1	1		2
	課題研究	2～4			4	4
	生活産業情報	2～4		2		2
	住生活デザイン	2～8		2 — 2	4 — 4	0～6
	服飾文化	2～4		2 —		0～2
	ファッション造形基礎	2～6		4 — 4		0～4
	ファッション造形	4～10			7 — 7	0～7
	ファッションデザイン	4～14			4 —	0～4
	フードデザイン	2～8		2		2
	○色彩とデザイン	2	2			2
	○染織制作	11		4 —	7 —	0～11
各学科に共通する各教科・科目の計			26	18	14	58
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			3	11	15	29
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0	0
総合的な探究の時間 ()		3～6	1	1	1	3
合 計			30	30	30	90
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
教育課程に係るその他の事項						
卒業までに修得させる単位数			90 単位		卒業に必要な履修と修得の単位数	1 分離している ○ 2 分離していない
学期の区分			1 3学期制 ○ 2 2学期制		学期の区分ごとの単位修得の認定	1 実施している ○ 2 実施していない
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他 ()			
学校外における学修の単位認定			1 実施している ○ 2 実施していない			
総合的な探究の時間の実施方法			1 週時程に位置付けて実施する。 ○ 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。			
備 考			・ 2年「音楽Ⅱ」及び「美術Ⅱ」及び「書道Ⅱ」は、それぞれ1年次においてⅠを付した科目を履修した者のみ履修することができる。 ・ 「住生活デザイン」及び「染織制作」は、2年次及び3年次で継続して履修する。 ・ 3年「ファッション造形」は、2年次において「ファッション造形基礎」を履修したものが履修する。 ・ 3年「ファッションデザイン」は、2年次において「服飾文化」を履修したものが履修する。			

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。